

研究課題：発達外来受診児の疫学的特性の同定

1. 研究の目的

神経発達障害では遺伝子異常のように生物学的要因が明確に同定できる場合もありますが、家庭環境、医療へのアクセスなどの社会的要因との関連性も指摘されています。そのため、神経発達障害の長期予後は、家族と社会による支援で改善される可能性も示されています。そこで、当センター発達外来を受診する小児の疫学的特徴の全体像を把握することにより、神経発達障害児の家庭環境などの社会的特性による差を明らかにし、効率的かつ早期の介入のための方策、社会的支援の在り方を考察し、その改善に向けた新たな提案を導き出すことが本研究の目的です。

2. 研究の方法

1985年4月1日から2020年5月31日の間に発達の遅れを主訴に当センター発達外来を受診した患者さんを対象とします。

診療録（電子カルテ）より年齢、受診日、背景疾患、妊娠出産歴、発達歴、診断名、検査結果、家庭特性などの情報を収集し、後方視的に関連因子などを検討します。

3. 研究期間

研究期間は2020年（承認日）より2023年3月31日。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録より得られる情報。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

個人情報情報を消去した上で、集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表したいと思います。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター 神経科・保健発達部 医長 小一原 玲子

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧すること

が出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）